



2016年度 環境活動レポート

(2016.4.1~2017.3.31)

システムニ科尔 (株)
<http://www.nicol.co.jp>

- 会社概要
- 環境方針
- 環境推進体制
- 環境目標と実績
- 環境負荷の状況
- 環境負荷測定法
- 環境取組の評価
- 環境関連法規
- 代表者による評価と見直し

目次

システムニ科尔株式会社

オフィス<人数>	所在地
本社<40名>	〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石ヨコハマビル3F 最寄り駅:横浜駅東口より徒歩8分
沼津支所<7名>	〒410-0396 静岡県沼津市宮本140 富士通沼津工場B棟5F
仙台支所<22名>	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-3-5 仙台青葉通ビル3F

本社フロア床面積 : 184.80㎡

沼津支所フロア床面積 : 52.80㎡

仙台支所フロア床面積 : 128.83㎡

会社概要

nicol

Copyright 2017 System Nicol Co.,Ltd.

会社概要

創立	1973年5月
代表取締役	浅見 秀一
資本金	8,000万円
売上高	527百万円
従業員総数	69名(2017年4月現在)
活動概要	以下のソフトウェア開発 ・通信系ソフト開発 ・組み込み系ソフト開発 ・Webアプリケーション開発 ・Windowsアプリケーション開発
設備概要	パソコン コピー機 Web会議システム ※社用車等の車両は保有しておりません

◆組織沿革

- 1973年 5月 川崎市に設立
- 1983年12月 沼津支所を開設
- 1987年 7月 資本金6,400万円に増資
- 1991年10月 仙台支所を開設
- 1994年 5月 (株)エス・アイ・エスと業務提携
- 1996年 6月 本社を川崎市より横浜市へ移転
社名をシステム日本(株)よりシステムニコル(株)へ変更
- 2006年 6月 エコアクション21認証取得
- 2007年 1月 仙台支所を仙台青葉通ビルへ移転
- 2007年 3月 沼津支所を富士通沼津工場内へ移転
- 2007年 7月 資本金8,000万円に増資

→現在に至る

◆基本理念

当社は「社会貢献」を企業理念に持つ企業として、環境関連法規、条例、地域の指導・指針を率先して守り、環境に配慮した事業活動を推進します。

また、人の集団であるIT企業として、社員一人ひとりの環境に対する意識向上を図ります。

キーワード: 3R+LCA (Life Cycle Assessment)

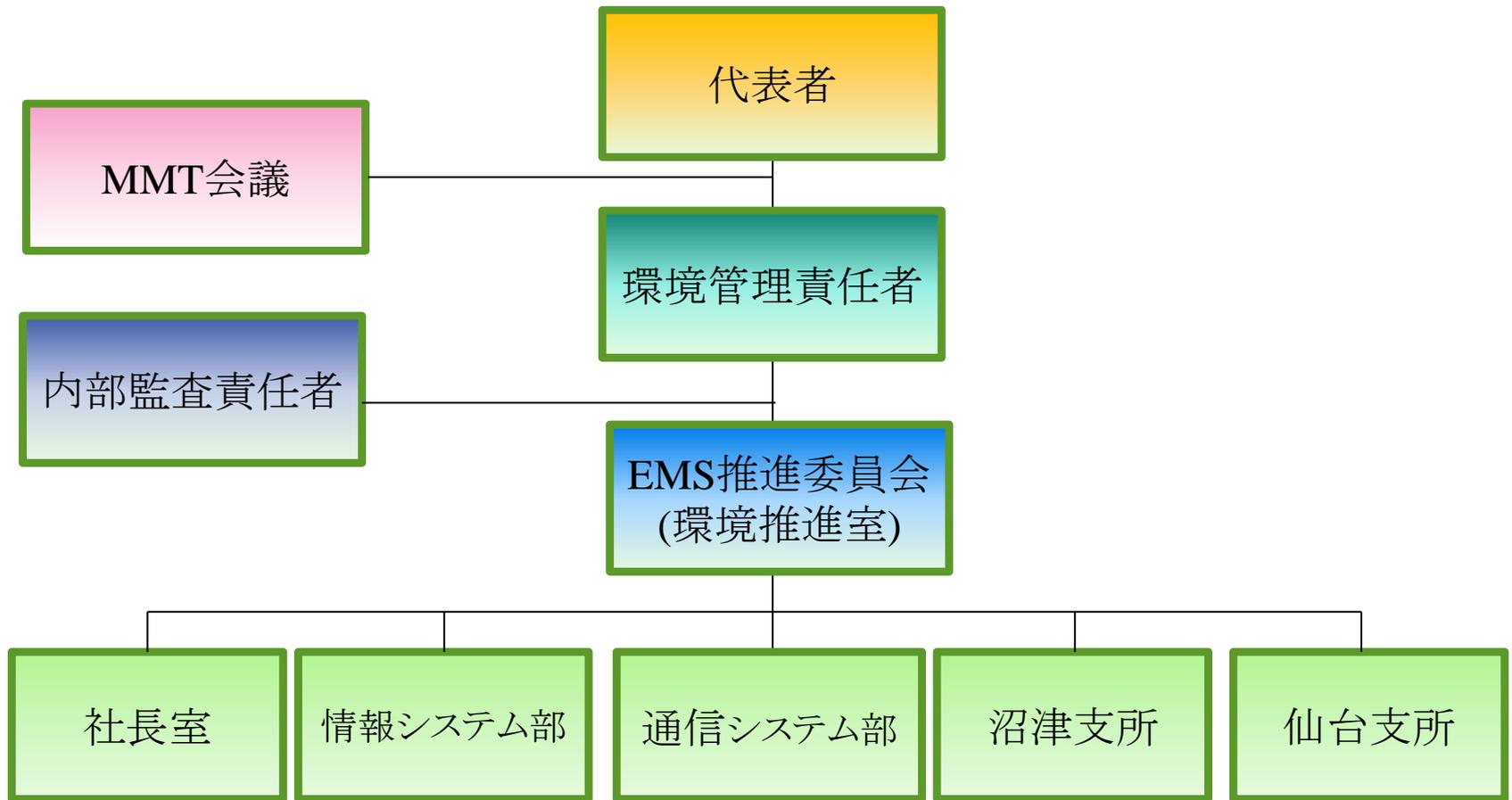
環境方針

◆基本方針

1. 3R: Reduce→Reuse→Recycleの順序で推進します。
2. LCA: 環境活動をオフィスの内外で推進します。
3. Cycle: 環境活動(EMS)をまわします。
4. Assessment: 環境活動を実質的に評価します。

上記の基本方針に基づき、以下の環境活動を推進します。

- (1) 事業活動におけるCO2排出量、廃棄物排出量の削減に努めます。
※当社事業活動において、化学物質の取り扱いはありません。
- (2) ソフトウェア開発業務における効率化と品質の向上により、
環境負荷の低減に努めます。
- (3) 省エネ製品の積極的導入等、グリーン調達の推進を図ります。
- (4) 社員一人ひとりが生物多様性に対する理解を深め、
環境保全の意識を向上させる環境教育を推進します。



環境推進体制

環境推進体制

代表者	代表取締役	浅見 秀一
	取締役	田代 紀生
環境管理責任者	環境推進室担当部長	遠藤 幸一



中期目標(2014年4月-2017年3月)	環境施策
電力使用量削減 2013年度実績値の維持	クールビズ,ウォームビズによる空調温度の適正管理。昼休み消灯,未使用機器電源OFF →異常値がないことを継続監視
紙使用量削減 2013年度実績値の維持	電子媒体使用等によるペーパーレスの推進 →異常値がないことを継続監視
可燃ごみ排出量削減 2013年度実績値の維持	ゴミ分別化の徹底 →異常値がないことを継続監視
環境負荷を低減する製品, サービス, 取り組みの提案	開発サポートツール,業務改善提案による工数削減 →異常値がないことを継続監視
事務用品購入のグリーン調達率向上(対象の拡大)	<ul style="list-style-type: none"> ・PCおよび周辺機器のエコ製品チェック運用 ・事務用品のエコ製品チェック運用
環境への取り組みの社外展開推進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する外部セミナー参加 ・環境イベント参加

環境目標と実績-中期目標と施策

活動項目	年度目標	今期の状況	達成状況
電力使用量削減 [kWh]	2013年度実績値維持 26,405.74 ※1	22,326.72	○
CO2排出量 [kg-CO2]	2013年度実績値維持 9,981.37 ※2	8,439.50	
紙使用量削減 [枚]	2013年度実績値維持 7,211 ※1	7,674	×
可燃ごみ排出量 削減 [kg]	2013年度実績値維持 69.1 ※1	54.2	○
事業活動による 環境負荷の低減	工数削減に対する 2013年度実績値(13件) の維持向上※1	7件 (開発サポートツール, 改善提案件数)	×

※1 2013年度実績値

※2 排出係数0.378

環境目標と実績-2016年度①

活動項目	年度目標	今期の状況	達成状況
事務用品購入のグリーン調達率向上 (対象の拡大)	設備投資時のPCおよび周辺機器のエコ製品チェックの運用 (2015年度基準値における対象比率の維持)	設備投資における購入対象のPCおよび周辺機器のエコ製品対象比率を維持した。	○
環境への取り組みの社外展開推進	自治体, 他企業のセミナー, イベント等の社外環境活動の参加	各拠点にて環境活動(清掃活動, 募金活動)に参加したが, 本社地区は清掃活動参加は未実施であるため, 来年度は全社的に実施できるように取り組みたい。	△

環境目標と実績-2016年度②

◆年度別目標

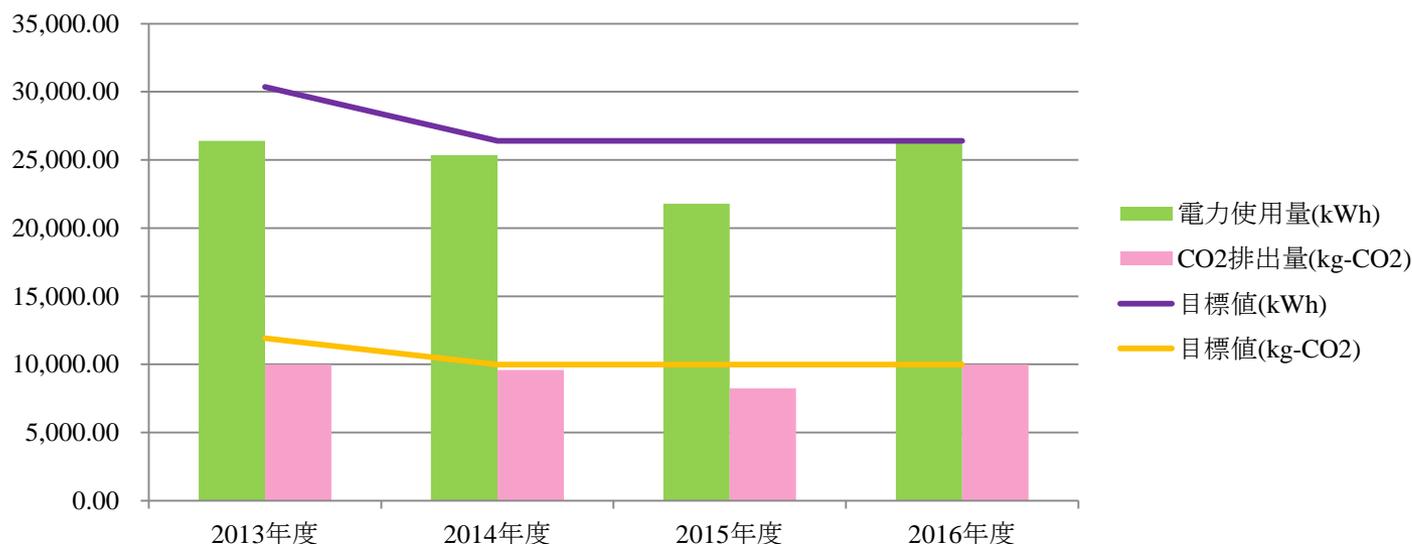
活動項目	2014年度	2015年度	2016年度
電力使用量削減 [kWh]	2013年度実績値の維持(26,405.74)		
CO2排出量 [kg-CO2]	2013年度実績値の維持(9,981.37)		
紙使用量削減 [枚]	2013年度実績値の維持(7,211)		
可燃ごみ排出量削減 [kg]	2013年度実績値の維持(69.1)		

※ 2014 – 2016年度まで2013年度実績値の維持を目標とし、異常値がないことを監視していく。

環境目標と実績-年度別

◆電力使用量の年度別目標と実績

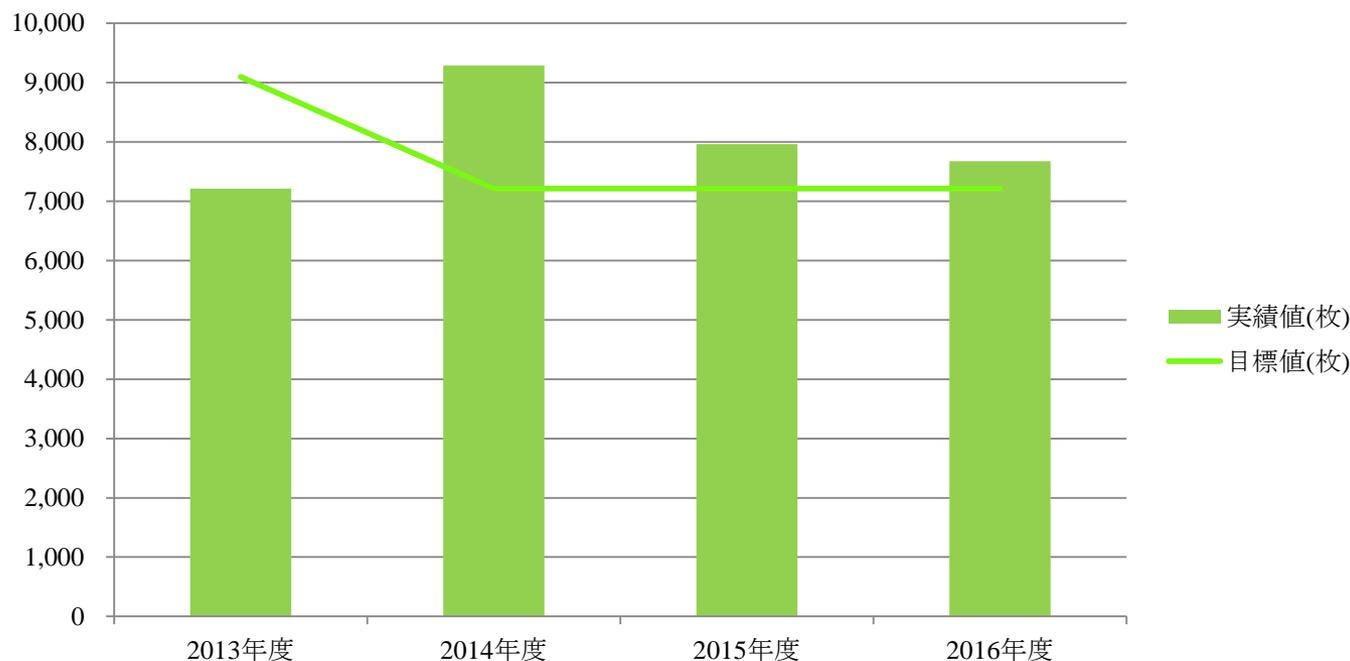
活動項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
電力使用量(kWh)	26,405.74	25,355.31	21,795.78	22,326.72
CO2排出量 (kg-CO2)	9,981.36	9,584.30	8,238.80	8,439.50



環境負荷の状況①

◆紙使用量の年度別目標と実績

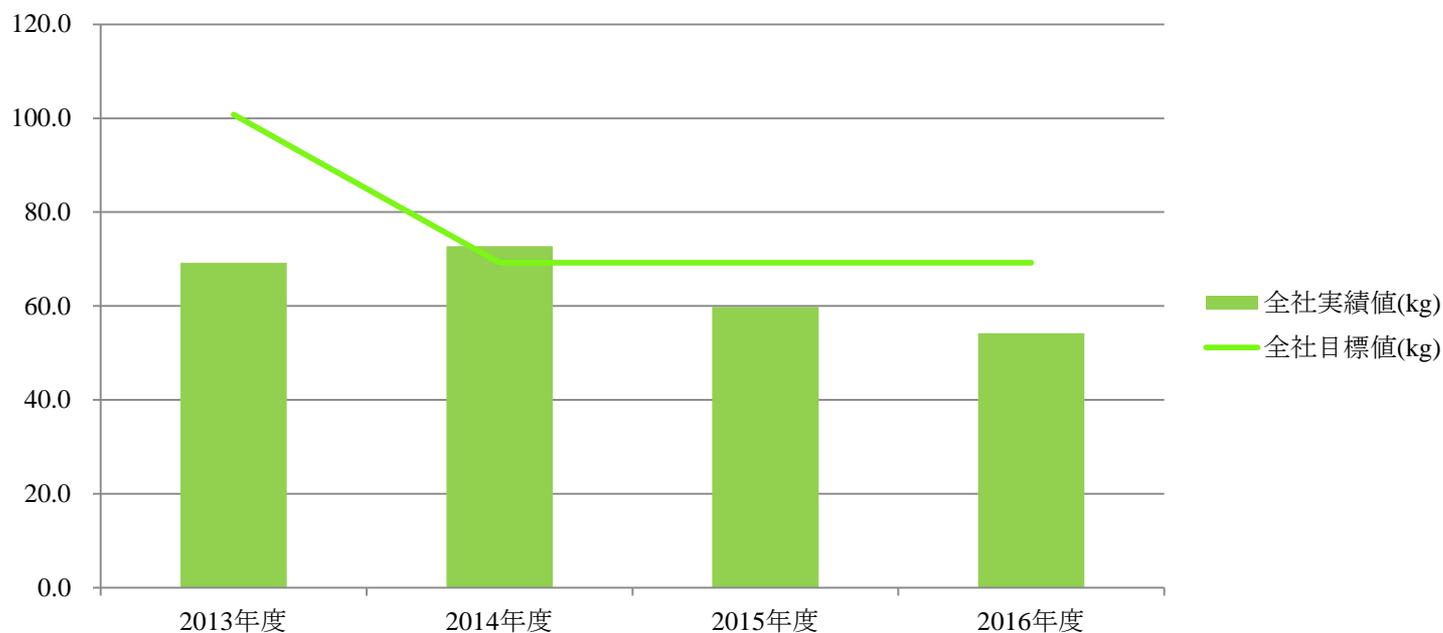
活動項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
紙使用量(枚)	7,211	9,289	7,960	7,674



環境負荷の状況②

◆可燃ごみ排出量の年度別目標と実績

活動項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
可燃ごみ排出量 (kg)	69.1	72.7	59.8	54.2



環境負荷の状況③

- 2016年度電力使用量, 可燃ごみ排出量については, 目標を達成しており, 問題はない。また, 紙使用量については, 目標未達成となっているが, 顧客向け等紙使用量の一時的増加が要因であり, 問題はないと考える。
- 水道使用量については, 入居ビル管理会社が全フロア一括で処理している為, フロア単位で数値を把握することはできない。したがって, 水道使用量については節水への呼びかけを行っている。

環境負荷の状況 - 考察

ワットチェッカーによる
電力測定



はかりによるゴミ計量



環境負荷測定法

項目	評価	次年度の取組
電力使用量削減	目標を上回る削減を達成した。	2013年度実績値を維持し、異常値がないことを継続監視していく。
紙使用量削減	目標を上回る削減を達成した。	測定手順について、詳細要因を把握できるような手順を検討していく。
可燃ごみ排出量削減	目標を上回る削減を達成した。	2013年度実績値を維持し、異常値がないことを継続監視していく。
事業活動による環境負荷の低減	2013年度実績値を下回り、目標達成できなかった。	2013年度実績値の維持向上を目指す。

環境取組の評価①

項目	評価	次年度の取組
事務用品購入のグリーン調達率向上 (対象の拡大)	設備投資における購入対象のPCおよび周辺機器のエコ製品対象比率を維持した。	設備投資時のPCおよび周辺機器のエコ製品チェックの基礎数値(2015年度)対象比率維持
環境への取り組みの社外展開推進	仙台, 沼津拠点にて社外環境活動に参加した。	各拠点での社外環境活動参加の定着化を目指す。

当社では技術教育に加え, 定期的に環境関連の情報を社員向けに発信したり, 各部門それぞれで定期的に環境活動の周知, 教育の場を設け, 啓発活動を実施している。

環境取組の評価②

◆環境関連法規への違反，訴訟の有無

環境関連法規の違反・訴訟等は過去および現在において1件もない。また，当社に対する関係機関及び近隣からの指摘・苦情もない。

※環境上の緊急事態に対する対応については，自然災害，火災のみ想定している。

環境関連法規-違反・訴訟の有無

関連法令・条例・規則・顧客	適用対象
循環型社会形成推進基本法	全社
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	全社
資源の有効な利用の促進に関する法律 (PCリサイクル法)	全社
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	全社
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	全社
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例	本社

環境関連法規一覽①

その他環境関連の要求事項	適用対象
入居ビル管理, 富士通沼津工場の要求事項(ゴミ分別, 避難訓練)	全社

環境関連法規一覧②

清掃活動に参加しました！



環境活動の紹介-イベント

nicol

Copyright 2017 System Nicol Co.,Ltd.

ゴミの分別はきっちりと！募金活動も実施中！



環境活動の紹介-分別

フェーズ4までの長年の取り組みの中で環境マネジメントシステムがしっかり回っていることが確認できた。

今、企業はCSRとして、労働環境の改善「働き方改革」が強く求められている。そこで当社は、長時間労働や深夜労働の削減を、従来からの事業活動による環境負荷の低減、効率化提案に加え推進する。

また、新たに利用可能なデバイス等も積極的に活用し、新しい環境活動の段階、フェーズ5とし推進する。

この活動は、当社今期の全社テーマ「効率化社会へ向けて」の取り組みの一環とする。

フェーズ5のキーワード:KeepGreen+α

代表者による評価と見直し

フェーズ
1

- ・ 2004年より弊社独自の環境活動（クールビズ等）を開始

フェーズ
2

- ・ 2005年よりお取引先から第2者認証を取得

フェーズ
3

- ・ 2006年6月，エコアクション21の認証を取得（第3認証）

フェーズ
4

- ・ 2015年4月～ フェーズ3までの削減効果の維持および社外の働きかけ等スコープ拡大

フェーズ
5

- ・ 2017年4月より「働き方改革」を含む労働環境改善へと取り組みを拡大

今後の取り組みについて

2017年度～2019年度の中期目標

「働き方改革」の推進

グリーン調達率向上
(事務用品, PCおよび周辺機器)

業務効率化の推進
(効率化提案)

環境への取り組みの社外展開推進

2013年度実績値を元に異常値がないか監視継続

電力使用量削減
2013年度実績値の維持(排出係数最新化による測定)+LED導入

紙使用量削減
2013年度実績値の維持+ペーパーレス化拡大

可燃ごみ排出量削減
2013年度実績値の維持

2017年度の年度目標

通番	中期目標	環境目標
1	電力使用量削減 2013年度実績値の維持 (排出係数最新化による測定) +LED化導入	2013年度実績値の維持(排出係数最新化による測定) LED化導入の検討
2	紙使用量削減 2013年度実績値の維持 +ペーパーレス化の拡大	2013年度実績値の維持 ペーパーレス化の拡大検討
3	可燃ごみ排出量削減 2013年度実績値の維持	2013年度実績値の維持
4	業務効率化の推進 (効率化提案)	2013年度実績値の維持向上
5	グリーン調達率向上	設備投資時のPCおよび周辺機器のエコ製品チェックの運用(2015年度基準値における対象比率の維持)
6	環境への取り組みの社外展開推進	各拠点における社外環境活動への参加促進
7	「働き方改革」の推進	総労働時間削減による環境負荷低減への取り組み検討

- システムニコル（株）
- <http://www.nicol.co.jp>

END